



「小高の明日を考える集い」を開催しました。

一度は住民がゼロになった避難指示の解除から3年が経ちました。穏やかに掛け替えのない日常を、小高のあちこちで感じます。そんなときだからこそ、みんなで小高の明日を考え話し合いました。



7月20日@交流センター

前半：集落

集落部の土地の利用と管理の実態を調査し、様々な動きがあることを、センターより報告しました。

営農再開に加えて、ひまわり畑、グラウンドゴルフ場、行政区史の作成、公会堂の建設、太陽光パネルの設置など、行政区主体の動きは多岐にわたります。

当日の議論では、現在の土地利用は、コミュニティの拠り所になり、人を集める機能もあるという意義が確認されました。

しかし、暫定的に行っているため、予算や人手の点から、継続性に懸念があり、今後は、たとえば、右記の二点が必要だと話し合いました。

1) 今の暫定利用を、次の利用に展開する

2) 意向調査等を行い、土地の再編に向けて動き出す

東京大学大学院修士論文「原発複合被災集落における土地利用管理に関する研究」はセンターでご覧いただけます。

後半：まちなか



空き地を使って新しいまちなか像を作っていく提案をしました。模型はセンターにありますので是非ご覧ください。

当日の議論では、空き地を有効利用する必要性と共に、固定資産税の減免措置が終了し、これからの土地所有をめぐって何が生じるかわからず、どう対処するかという課題と、下記の方が共有されました。

1) 有効な空き地利用を増やしていく

2) 税金分を賄える土地利用を実現する

3) 土地所有者の方に実情を理解いただけるよう、まちなかの将来像をまとめる

塚原海岸にてアートフェスが開催されました。

津波に襲われ、災害危険区域になり、防潮堤ができ、塚原海岸はすっかり変わりました。しかし塚原の有志の方々を中心に、塚原海岸を再生しようという動きが、8月11日結実しました！

薄曇りで凌ぎやすい天候の中、実行委員長の村井俊道さんより、多くの皆さんの力によって今日の日を迎えられたことが語られました。市長・門馬和夫氏、行政区長連合会会長・林勝典氏からのご挨拶では、住民主体でこうした動きがあることの素晴らしさに賛辞が送られました。NCL 南相馬さんのテンポよい司会の中、多くの市民の方々も参加した手形も設置されました。

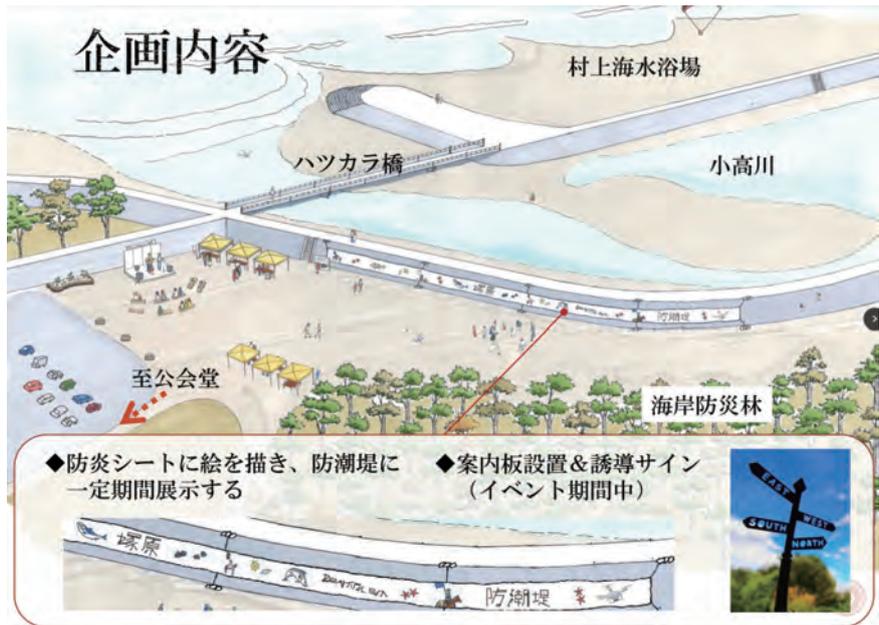
ご縁のあった芸術家ユニットのNANNOMIYAさんからの絵の解説や、豪華景品がもらえるクイズ大会もあり、久しぶりに会った方とのおしゃべりにも花が咲く楽しいひとときとなりました。



▲当日の除幕式で絵のお披露目です。



▲福浦小学校の空き教室に通い続け、塚原の皆さんが絵を完成させました！



◆防災シートに絵を描き、防潮堤に一定期間展示する

◆案内板設置&誘導サイン (イベント期間中)

▲センターは李美沙さんを中心に、企画を形にするお手伝いをしました。

防災シート8枚のアートは、塚原の過去・現在・未来です。海、地引網、水平線から上がる朝日、松が生い茂る砂浜。みんな、塚原海岸の宝です。野馬追や小高川、報徳の考え方を継承した希望も描かれています。折をみて各所で飾ることを検討しているそうです。クリアファイルの販売も行うそうです。お楽しみに！

お知らせ

● **8/31(土) 9/1 (日)、そよ風ガーデン・生き生き菜園にて 菜園レクチャー**を開催します！

8/31 さつまいも収穫、9/1 バジルペースト作り&プランター講座の予定です。

詳しくはチラシ・Facebookにてお知らせします。

● そよ風ガーデンでは、バジル、レモンバーベラ、ミントがすくすく育っています！摘みたてハーブティーでリラックス～。

Facebookでも
活動を発信
しています！



8月下旬-9月中旬の開所・活動予定
(開所：月・水・金・土 10時～16時)

8月第4週：19 (月)・21 (水)・23 (木)・24 (土)

8月第5週：26 (月)・28 (水)・**30 (金)・31 (土)**

9月第1週：**1 (日)・2 (月)**・4 (水)・6 (金)・7 (土)

9月第2週：9 (月)・11 (水)・13 (金)・14 (土)

※変更の可能性あり。青字は東大メンバーが活動予定。

発行：小高復興デザインセンター

南相馬市小高区東町 1-37 (双葉屋旅館隣)

電話：080-4633-8695

URL：<http://td.t.u-tokyo.ac.jp/odaka>

Facebook：

<https://www.facebook.com/OdakaRC/>